2009 年 11 月　産業社会学部

２００９年度
父母教育後援会　　産業社会学部　学部長表彰制度
実　施　要　項

父母教育後援会学生援助事業の一環として、主として正課に関わる分野で、優れた学修成果を修めた産業社会学部の学生（個人および団体）に対して、その成果をたたえこれを表彰し、学生諸君が意欲的・積極的に勉学に取り組めるような学部環境づくりを目指し、下記の要項により、2009 年度父母教育後援会産業社会学部学部長表彰制度を実施します。

１．表彰対象と表彰の概要　（各賞の件数は以下の数を目処としますが、出願状況によって柔軟に判断します）

◆父母教育後援会　学部長表彰制度		
最優秀賞	団体 20 万円（奨励金）、個人 20 万円（奨励金 15 万円＋５万円相当の記念品）	2 件
優秀賞	団体 10 万円（奨励金）、個人 10 万円（奨励金 9 万円＋1 万円相当の記念品）	8 件
教育賞	団体、個人とも 5 万円（奨励金）	24 件

表彰の対象

①卒業論文の部

対象	4 回生のみ出願可能。 2009 年度において「卒業研究指導」を履修し、論文あるいは制作物を作成した個人及びグループ。

②公募論文の部

対象	全回生出願可能。ただし卒業論文を除く。 2009 年度において、論文あるいは制作物を作成した個人及びグループ。

③ゼミナール大会の部

対象	全回生出願可能。 回生を問わず 2009 年度ゼミナール大会で報告を行い、論文あるいは制作物を作成した個人及びグループ。　※報告レジュメ等による申請不可。論文（あるいは制作物）として提出すること。

④活動の部

対象	全回生出願可能。 回生を問わず 2009 年度にめざましい自主活動を行い、成果をあげた（広く社会に貢献した）個人または団体。ただし下記「出願資格」にあるように、「立命館大学奨学制度」と重複して応募することはできない。

※ただし、②、④については、前年度の募集締切（2009.1.14）後～3 月末までの活動も表彰対象とする。

２．出願資格

産業社会学部の学生であり、以下の条件を満たす者。複数応募は可能であるが、同一論文による重複出願不可。

[条件]

① 父母教育後援会会員を保証人とする学部学生
② 本人出願を原則とする
③ 立命館大学奨学制度（「資格･能力取得育英奨学金」、「校友会奨学金」、「課外自主活動個人奨励金」、「課外自主活動団体助成金」、「課外･自主活動研修支援制度」）と重複して出願することは不可。

３．受付期間

2010 年 1 月 7 日（木）から 27 日（水）17 時　厳守

【提出先】産業社会学部事務室（別に受付会場を設けることがあります。その場合は掲示でお知らせします。）

上記出願受付期間・時間を厳守とし、この期限を越えては一切受け付けません。

4. 選考結果の発表

表彰者の発表　　学部掲示板に掲示。

表彰式　　4回生以上…卒業式当日　　3回生以下…3月下旬の成績発表時　　（予定）

5. 選考について

産業社会学部教授会で選任された選考委員会で厳正、公正に審査します。他人の著作権を侵害するような明らかに盗作と判断されるものがあれば、表彰対象としません。引用文献等については必ず明記してください。論文・レポート等の書き方については、基礎演習・演習担当教員等に積極的に相談してください。また、最優秀賞に選ばれた卒業論文は学会誌『フォレスト』に掲載します。また、優秀賞に選ばれた卒業論文も原則掲載することとします。

6. 申請書類等の提出要領について

【提出書類】　⑤～⑦以外は産業社会学部事務室窓口で配布。

① エントリーシート
② 奨励金振込依頼書
③ （団体の場合）団体応募者一覧
④ 審査対象論文等の要旨。「活動の部」への申請の場合は、活動内容およびその活動によって学んだことをまとめたもの。(A4)
⑤ 審査対象となる論文(A4)または制作物（DVD等は封筒に入れて綴じる）
　ただし、「活動の部」への申請の場合は、不要。
⑥ 審査の参考となる業績・成果のわかる資料（活動内容を文章にまとめたもの、申請者・団体が受けた表彰状、公的に発表・刊行した場合の公的証明、新聞記事、書評、その他写真やDVD等)。
　※ 「活動の部」への申請：添付必須。
　※ 「卒業論文の部」「公募論文の部」「ゼミナール大会の部」への申請：資料がある場合のみ添付。
⑦ 論文のデータ（フロッピーディスクもしくはCD-ROMを封筒に入れて綴じる）
⑧ （４回生のみ）卒業後も変わらない連絡先の記入用紙

【提出の仕方について】　＜提出期間に、事務室窓口に「提出見本」を設置します＞

(1) 以下２点を両方とも提出してください。
　A．A４タテのフラットファイルに上記①②③④⑤⑥⑦⑧を順に綴じたもの。
　B．A4タテのフラットファイルに上記④⑤⑥のみを順に綴じたもの。
(2) (1)のA,Bの2冊とも、表紙には以下の項目を記載すること。
　・上段１行目「産業社会学部 学部長表彰申請論文」
　　上段2行目「論題：…」
　・下段に申請者（団体の場合は代表者）の学生証番号、氏名、団体の場合は団体名
(3) 提出物（論文、冊子、刊行物、写真、ビデオ、DVD等）は返却しません。

※ 論文書式等の目安：表紙・目次・註釈・図表などすべて含めA４用紙5枚以上、
書式は１ページ40文字×36行の設定がのぞましい。

以上